

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 5 年 6 月 3 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2018～2022

課題番号：18H03583

研究課題名(和文) 日本中近世寺社&lt;記録&gt;論の構築 日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化

研究課題名(英文) Constructing the theory of &lt;Records&gt; of Japanese medieval temples and shrines

研究代表者

遠藤 基郎 (Endo, Motoo)

東京大学・大学院情報学環・学際情報学府・教授

研究者番号：40251475

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 21,300,000円

研究成果の概要(和文)：中世史研究にとって寺社史料研究は、方法論としても研究資源の供給においても重要な研究領域である。このプロジェクトは、「寺社記録」というカテゴリーを設定し、寺社史料の豊かさを改めて確認する史料論を確立すると共に、中世後期・近世初頭すなわち特に14～17世紀前半の歴史研究を活性化させるための研究資源を供給することを課題とした。  
仁和寺・醍醐寺・東寺・東大寺・春日大社につき、関係史料の調査・収集、目録化、解題作成、史料翻刻、歴史補助知識の整備などを行い、それを書籍刊行、WEBデータベース、WEB公開ファイルなどの形態で発信した。  
中世寺社記録学の方法の構築を試みた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

未翻刻史料の翻刻により学界共有の研究資源の増進を果たした。未知の歴史的事実も提供できた。とりわけ中世後期の資料が手薄な東大寺では今後の研究の進展が期待される。仁和寺願証の日記の場合、今後の指針となる書誌解明を果たすなど、新たな史料研究のパイオニアとなる成果も得られた。記録を切り口とした寺社間の比較史料論の提言により、中世寺社研究をより豊かにする可能性を示した。  
京都・奈良の寺社は日本伝統文化の担い手であるが、具体的にどのように文化的営為がなされていたかを明らかにした。これは国民一般の日本文化理解を深める上で有用と認識している。

研究成果の概要(英文)：For medieval history research, temple and shrine historical material research is important both as a methodology and as a resource of research. In this project, we set up a category called "Temples and Shrines 《records》". We set the following two tasks to revitalize historical research in the late Middle Ages and early modern times. One is to provide research resources, and the other is to establish a theory of historical materials that allows us to reaffirm the richness of historical materials on temples and shrines.

We researched, transcribed, read, and explained them. It also provided supplementary knowledge necessary for deciphering historical materials. Ninna-ji Temple, Daigo-ji Temple, To-ji Temple, Todai-ji Temple, and Kasuga Taisha Shrine are the subjects of research. Reprints of historical materials were published in print or distributed online.

Especially we attempted to construct an academic method for "Temples and Shrines 《records》 of medieval Japan".

研究分野：日本史

キーワード：東大寺 東寺 醍醐寺 仁和寺 春日大社 日記 寺社史料論

## 1. 研究開始当初の背景

背景は以下の3点に集約される。

寺社史料論の達成。

現在の到達点は永村眞『中世寺院史料論』(吉川弘文館、2000年)である。本書は顕密仏教(いわゆる旧仏教)のみならず、鎌倉新仏教をも対象として、文書・経典・儀式典書などを多角的かつ包括的に検討した重要な仕事であって、宗教組織を運営するために様々な史料が作成・保管されてきたことを明らかにし、その後の史料学的方法にもとづく寺院史研究・宗教史研究を力強く牽引した。

日記・記録論の高まり。

日記へのこだわりは日本人の特徴とされる。倉本一宏(国際日本文化研究センター)代表のプロジェクトによる一連の書籍刊行は、その点を再確認した成果である(『日記・古記録の世界』思文閣出版、2015年。『日記で読む日本史』シリーズ、臨川書店など)。より史料論志向な視点からの深掘りも進んだ。田島公(東京大学史料編纂所)による禁裏公家文庫研究プロジェクトである。天皇家・公家のアーカイブには多数の日記が含まれるが、包括的な公家アーカイブの解明に精力的に取り組む本プロジェクトの成果(『禁裏公家文庫研究』既刊6冊、思文閣出版など)は、日本史のみならず、文学・芸能など多方面へ研究資源を供給することとなった。

中世後期政治史・社会史への関心の高まり。2000年代後半以降、日本中世史は、それまでの院政期・鎌倉期から、南北朝・室町期へとその研究対象が推移している。近年室町時代に関する一般向け書籍が増えているように、そうした研究史の流れは広く社会にアピールされている。

〔問いと見通し〕

以上の学術動向に対して、本プロジェクトで改めて問い直す点はそれぞれ以下のとおりであった。

寺社史料論をさらに発展させるために何が必要か。

永村の提言により進んだ寺院史料論の流れを、今後もさらに推進するためには、これまで検討が不十分であった新しい要素を加える必要がある。その新しい要素として本プロジェクトでは記録に注目する。ここでいう記録とは、寺社構成員の業務的な日誌・私的な日記、あるいは特定の儀礼などの主題を絞り込んだ記録を指す。具体的には、「東寺執行日記」「東大寺法華堂要録」・大元帥法記録・春日社家記録などである。永村の議論は、宗教性の強い聖教や文書を中心に構築されたこともあり、こうした記録についてはなお検討が不十分と考えるためである。

日記論一般をさらに発展させるために。

倉本・田島などの成果は大きな成果ではあるが、貴族・公家を書き手とする私日記に重点を置く。日本文化論としてなおの広がりを得るためには、より一般的な階層を書き手とするもの、あるいはより公務性の高いものなどを追究する必要がある。寺社の記録はまさにそのような必要性をみだすものである。

中世後期の政治史・社会史の解明をさらに加速させるために。

この分野の研究の進展にとって日記・記録が研究資源として果たした役割は大きい。しかし寺社の記録は、必ずしも十全に研究資源化されている訳ではない。いくつかの代表的なものを除き、いまだ活字化(翻刻)されていないこと、記録そのものの所在状況が散在的であることなどによって、研究者にとって「寄り辺なさ」「扱いにくさ」から脱することができない。また記録を讀解するためには、その背景となる記録の書き手が属する集団そのものへの理解が不可欠である。その際、寺社集団の場合は、様々な役職名簿が補助ツール・工具類として必須であるが、公家・武家の場合と違い、そうした情報が十分に整備・提供されている訳ではない。研究資源としてフルに活用するためには、この点も克服すべき課題である。

## 2. 研究の目的

寺社記録論によって寺社史料論をさらに深堀する。

(ア)寺社ごとの記録の全体像を把握する。記録は長期間、時には複数世代にわたり書き継がれる。当初それは一箇所に保管・伝来したが、史料群の解体・散逸あるいは攪乱などにより、一体性が失われる場合がある。現代における管理状態だけでなく、過去における状況も復元を行った上で全体像を把握する。(イ)類型化のモデルを提示する。史料論において分類は不可欠の方法論である。モノとしての形態・内容・記述形式などを指標とした類型化のモデルを提示する。(ウ)動態的な寺社史料論の確立を目指す。記録の多くは文書を引用する(文書記録の情報移動の流れ)。さらにそれ自体2次利用され、写本が作成され、寺誌・社誌その他の編纂史料の素材となる(記録編纂史料)。このような史料群内部での生成活用蓄積・保存生成という機能論的サイクルの包摂した方法論を構築する。(エ)寺社ごとの差異=寺社ごとの個性を追究し、その個性の理由を、比較史の方法を通して主にそれぞれの実務や組織のあり方から明らかにする。

以上によって、個々の研究者の関心に即した歴史叙述のための断片的利用ではなく、寺社史料論をより充実させるための寺社 記録 論の構築を目指す。

従来の日記・記録論では不足していた、別の日本伝統文化のありようを示す。

中世寺社は「もう一つの中世社会」(黒田俊雄『寺社勢力』岩波新書、1980年)として、1970年代以降再評価されその解明が進み中世史全体の見直しをもたらした。日記・記録論においても、公家日記との比較を通して、寺社 記録 の固有性やその時代的な変化を明らかにする。これにより記録学・史料学総体をさらに豊かなものとする。

研究資源を豊かにする。

上記 を達成するためには、何より個別具体的な素材・事例への深い理解が必要であり、そのためには数多くの未刊行史料について正確な翻刻テキストを作成することや、既に刊行されたテキストの誤りを正す作業が不可欠である。それらを学界あるいは社会共有の研究資源とする。そのために複数の 記録 を俎上にのせる。大部分は未刊行史料である。それぞれは、当該期寺社社会やその内部組織・活動のみならず、同時代の政治的・社会的事件・できごとにも及び、新しい知見を学界にもたらすものである。その中には災害関連の記事もあり災害史に寄与する他、文学・芸術・建築・考古学の情報をも供給する。

また新たに提供する 記録 から様々な情報をくみ取るための、補助となる歴史的な知識について、たとえば歴代の役職者リストなどを作成し、WEB上で発信する。これにより寺社 記録 利用者の利便性を高める。

### 3. 研究の方法

このプロジェクトは寺社単位でチームを編成した。

東大寺(統括遠藤基郎)

先行する研究プロジェクトの蓄積があり、記録 の一覧化・解題作成は一定程度果たされている。その完成度を高めるための遺漏分の追加調査・撮影を行うとともに、新たに翻刻・校訂を行った。執行 記録 (約320コマ)・法華堂要録など法華堂関係(約300コマ)、その他、東大寺法華会・興福寺維摩会関係あるいは東大寺別当を補佐した出世後見の 記録 を対象とする。また執行 記録 は東寺執行日記との比較研究を行った。

春日大社(統括藤原重雄)

上層社司 記録 を翻刻した。戦国大名による祈願依頼、庶民信仰に関わる賽銭や灯油料などの記事、あるいは伝統芸能関連の情報も豊富である。上記 の東大寺とあわせ南都全体の動向を知ることができた。本寺にあたる興福寺は大和全体に強い影響を及ぼすので、大和他寺社の記録にも目配りをした。とともに春日社記録の読解に必要な興福寺の役職・僧名に関する情報も集約を試みた。

醍醐寺(統括高橋慎一郎)

長期にわたる史料編纂所の撮影データからの 記録 を抽出するとともに史料収集の補充をした。一部については醍醐寺所蔵のマイクロフィルムスキャンによって効率的な情報蓄積を図った。特に正月の密教儀式である太元帥法についての 記録 に着目した。これは数代にわたり存在し、朝廷や織田信長・武田信玄などと醍醐寺の繋がりが知られるほか、儀式に使用された堂舎・道具類などの記述は建築史・考古学など関連研究分野にとっても重要である。目録化を行うと共に研究資源として価値のあるものを重点的に翻刻した。

東寺(統括高橋敏子)

寺務運営の実務方統括者である歴代の執行による、「東寺執行日記」(撮影カット数約430コマ)を書籍史料集として刊行するため、中世後期全体を覆う日記全体につき厳密なテキスト校訂を実施した。この他、東寺寺僧が個別に記した複数の 記録 もある。現在、複数の所蔵機関に分散するという困難な状況にあるが、調査の上、一覧・解題作成を試みた。また研究補助のためのツールとして東寺関係の役職就任者リストを作成する。

仁和寺(統括川本慎自)

これまで史料編纂所が撮影した約100函分から 記録類 をピックアップするとともに、追加の調査・撮影を行い、全体像の把握に努めた。これまでの調査において、江戸前期仁和寺再興に勤めた寺僧顕證の 記録 (約900コマ以上)は、京都の情勢や仁和寺周辺の文物について詳しく、その史料的価値が極めて高いことを確認している。これについて先行的に掘り込みを行い、写本所在状況した。

成果公開はいわゆる印刷媒体のみならず、フルテキストデータベース化やWEBサイトでのファイル提供とする。そのために、古記録フルテキストデータベース改修として画像リンク機能強化を行った。

以上の基礎作業を前提に、上記2 に記述した寺社 記録 論の目的(A)~(I)の到達を目指し、あわせて同 の中世寺社 記録 が日本文化に及ぼした影響の一端を考察した。

### 4. 研究成果

全体

3ヶ年度末の2021年3月に中間まとめの公開研究会をオンラインにて開催し、醍醐寺・東寺・

東大寺・仁和寺関係の報告4本をした(参加約70名)。最終年度には全体総括の報告書となる研究論集を刊行した(研究報告6本、史料翻刻12本)。個別の内容は以下の各項に譲る。中世の記録・「日記」は大きくa日次記・家記とbそれ以外の記録の2つあるという先行する理解に照らすならば、寺社の場合bに傾斜していることなどを指摘した。従来、aの観点から追究されていた研究状況に対して、中世の「日記」・記録の多様性への着目が必須であることを提起できた。

なお科研期間終了後ではあるが、報告書の成果点検と今後の研究発展のため、本科研メンバー外の研究報告も交え第2回公開研究会を開催した(2023年5月13日、東京大学史料編纂所、オンライン併用、参加約60名)。報告は以下の通り。

遠藤基郎「中世寺社「記録」「日記」を考える - 中世後期の東大寺の場合」、高橋敏子「東寺の記録から」、三枝暁子「中世北野社の日記・記録について」、末柄豊「興福寺の日記・記録を考える」

翻刻作成・校正や関係資料として撮影収集したものについては、史料編纂所閲覧室での利用が可能である。

古記録フルテキストデータベースの改修により、原本画像の表示方法を改善した。

#### 東大寺班

『中世東大寺記録執行関係史料』『中世東大寺記録出世後見・俱舎三十講関連史料』の刊行により、執行関係18本、出世後見3本、寺内法会である俱舎三十講関係10本を公開した(オンラインPDF版も併用)。複雑な写本関係がこれまでこれらの利用の大きな障害となっていたが、それらを取り除き利用しやすいテキストを提供できた。それぞれに解題をつけた。これらを利用して、従来手薄であった中世後期の東大寺史研究が今後大幅に進展することが期待できる。この他、寺内において重視された東大寺法華会関係と維摩会関係の記録も翻刻した。これらは引用関係が複雑であり、それらを整理したテキスト提供の見通しがたった。また法華会関係記録全体の書誌検討を総括報告書に取りまとめた。

法華堂記録については、校訂作業が進められ、作業完了の見込みが立った。またその過程で筆者を確定できた。従来知られている「法華堂要録」以外にも東大寺図書館薬師院史料・東大寺塔頭龍松院に、法華堂関係記録があることを確認し、それらの翻刻も進めた。

この他、寺内塔頭新禅院関係の史料翻刻も発表し、従来知られていなかった室町時代の南都律院ネットワーク(東大寺と額安寺)に光を当てた。

一連の史料翻刻・書誌検討を通じて、中世後期東大寺記録を研究資源として利用するに際しては、書き手の役職・階層差や主題となる法会・仏事に指標をおいた類型論を踏まえることが必須であること、同時に他の寺内史料(たとえば文書)との併用が効果的であることなどを確認・提言した。

記録を活用した研究成果として、寺内組織・役職の解明を果たせた。これまでほとんど注目されず実態が不明であった寺務代・出世後見の役割や変遷についての研究は、今後の基礎となる成果である。また執行については、記録の精読を通して、室町中期の業務をより詳細に解明した。これらは今後の東大寺組織論の発展に大きく資するものと確信する。このほか、室町時代の大和国清澄荘の経営も明らかにした。この時期の同地域の荘園経営の実態は未解明であったから、その意義は高い。以上の研究により、記録の価値の高さが再確認できる。

なおこの他、史料編纂所閲覧室で公開するHi-CAT Plusデータベース登録の東大寺関係記録100件のデータ整理を実施し、研究資源としての利便性を高めた。

#### 春日班

鎌倉時代から室町中期の翻刻を4点発表した。天理大学附属天理図書館所蔵の「春日社行幸記」(弘安九年中臣祐春記)は、使用された文書の引用も伴いつつ、天皇行幸のための春日社サイドの動き・役割が記され、記録の素材としての文書の性格がわかる。また天皇随行者の宿泊用に一般住宅が一時的に強制接收されていることなど新たな知見が得られた。個人蔵「寛正五年中臣祐識記」・春日大社所蔵「文正元年中臣延祐記」は、いずれも15世紀中頃応仁の乱直前の春日社の実態を明らかにする上で重要である。諸荘園の回復要求の神木動座や押領者への呪詛行為や、そのために中止・延期された春日若宮祭・春日祭や、勸学院との年頭儀礼、若宮での怪異(羽蟻・供物崩壊)などの記事がある。早魃が神社財務に与えた影響も窺うことができた。

国文学研究資料館所蔵「春日御遷坐御帰坐日記」は、法隆寺伝来の記録ではあるが、鎌倉・南北朝期の興福寺強訴記録を集めたものである。興福寺強訴が興福寺単独ではなく他の南都寺院をも巻き込むものであったことが明らかとなった。

上記の翻刻のうち法隆寺伝来記録を利用した研究も発表できた。強訴に関わる人数やそのための費用を具体的に明らかにして、その負担が寺院社会と在地社会に転嫁されたこと、凶作のため困窮した時期でも受容されたことから、強訴を優先する固有の心性の存在を指摘した。

春日大社とセットとなる興福寺について、寺内役職を知る上で有用なデータとなる「故廻請之写」を日本古文書ユニオンカタログデータベースに登録・公開した。

#### 醍醐寺班

正月修法の大元帥法に関するバリエーションに富んだ4点の記録（「太元帥法血脈」院政期後半・「太元法理性院相承次第」南北朝初期、「太元御修法雑々記」天文3年、「太元護摩次第」文永3年）を紹介した。仏事執行という実務資料として、多様な種類の記録が編まれること、翻ってそのような認識で記録に向き合うことの必要性を示せた。また醍醐寺聖教と記録との境界の曖昧さを改めて確認しつつ、「次第」と「（修法）記録」（雑記などと呼称）という史料表記の違いに注目し、「雑記」というタイプを記録として範疇化する可能性を指摘した。

また太元帥法の歴史の変遷を扱う論文において、室町後期・安土桃山期の毛利・島津の事例検討をし、地方での実施の実態を明らかにした。この他、義演准后日記とその別記である有馬湯治日記の分析も行い、両者の違いを明らかにした上で、日記の成立過程分析の方法論への提言をした。

醍醐寺撮影のマイクロフィルムの電子データ化（所蔵整理単位19函分（第380函））を果たし、史料編纂所閲覧室での閲覧に供した。

#### 東寺班

「東寺執行日記」は、過去に作成された原稿の点検を行い、国立公文書館内閣文庫・宮内庁書陵部・京都国立博物館・天理図書館の原本での調査を実施した。その結果、当初予定の底本を天理図書館本から内閣文庫本に切り替えるという根本的な修正を行った。そのため遅れは生じたものの、全3冊を予定されるうち、第1冊目を刊行できた（思文閣出版、2022年3月）。鎌倉時代最末期から、応仁の乱直前までをおさめた、東寺寺内の運営はもとより、東寺長者を出す醍醐寺、さらには室町幕府との関係についても新たな知見を示すことができた。今後の活用が期待される。第2冊の応仁・文明年間部分は錯簡が激しく、検討の上、精緻な錯簡箇所への復元にいたった。2023年度刊行する運びとなった（公開促進費採択済み）。両冊ともに馬田綾子氏の協力を得た。この場をかりて御礼を申し上げる。

平行して、「東寺執行日記」の書き手の一族阿刀家の検討を行い、執行日記など作成記録だけでなく、書写による菟書（「東宝記」「平家物語」など）も含めその伝来史料を俯瞰した。記録主体の知的背景を示すことができた。室町中期の執行栄増の作成した「私用集」を翻刻した。同じ栄増に関わる史料を含め、京都国立博物館所蔵の阿刀家伝世資料29点を撮影した。

執行以外に、寺内の記録として南北朝期・室町前期の学僧の日記3本につき、全部もしくは一部を翻刻するとともに、一部散逸の激しいものは、確認した所在情報を整理しかつ復元案を示し今後の利用に有用な情報提供を果たした。また学僧の要職である凡僧別当記録の一覧を作成した（2023年5月13日研究会資料）。

（中世後期）東寺寺僧寺官表（富田正弘富山大学名誉教授作成）建武～慶長年間（エクセルファイル）をWEB公開した。記録研究のみならず東寺史に裨益できた。

#### 仁和寺班

過去マイクロフィルム撮影分の仁和寺史料のうち、御経函第1～69函および黒塗手箱甲・乙について、文書番号単位の区切りをいれ、東京大学史料編纂所のHi-CAT Plusデータベースのデータを再登録した。奈良国立文化財研究所編『仁和寺御経蔵聖教目録稿』との併用で研究利用の便宜を図った。

近世前期の高僧顕證の日記の書誌につき、概要・整理保管状況・自筆本の利用の注意すべき点、そして錯簡・断簡部分の復元などを、寺外、寺外の関連史料に目配りして明らかにした。今後、本日記を活用する際に踏まえるべき備要である。

翻刻としては、真言宗寺院には相応しくない「聞書」という戦国時代関東の禅宗記録を取り上げた。同書は臨済宗妙心寺派大蟲宗岑の書を引用したものである。彼は近隣の曹洞宗禅僧の要請によりまとめたらしいこと、曹洞宗と真言宗の教学争論関係記録であることを明らかにした。さらに戦国末期の関東の宗教状況 - 曹洞宗や真言宗の教線争いなど - も描き出すことに成功した。真言宗にそぐわない記録の残った事情を解明しつつ、仁和寺記録の多様性・可能性を示すことに成功している。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計63件（うち査読付論文 20件 / うち国際共著 2件 / うちオープンアクセス 38件）

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>遠藤 基郎  | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>中世後期東大寺「記録」「日記」序論   | 5. 発行年<br>2023年     |
| 3. 雑誌名<br>「日本中近世寺社 記録 論の構築」グループ編『東京大学史料編纂所研究成果報告 2022-8日本中近世寺社 記録 論の構築 日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化』 | 6. 最初と最後の頁<br>3-28  |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし  | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）  | 国際共著<br>-           |
| 1. 著者名<br>横内 裕人  | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>『東大寺法華堂要録』小考 僧団「記録」の覚書  | 5. 発行年<br>2023年     |
| 3. 雑誌名<br>「日本中近世寺社 記録 論の構築」グループ編『東京大学史料編纂所研究成果報告 2022-8日本中近世寺社 記録 論の構築 日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化』 | 6. 最初と最後の頁<br>29-40 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし  | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）  | 国際共著<br>-           |
| 1. 著者名<br>三輪 眞嗣  | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>史料紹介 新禅院公物方新古道具資財注文事  | 5. 発行年<br>2023年     |
| 3. 雑誌名<br>「日本中近世寺社 記録 論の構築」グループ編『東京大学史料編纂所研究成果報告 2022-8日本中近世寺社 記録 論の構築 日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化』 | 6. 最初と最後の頁<br>41-48 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし  | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）  | 国際共著<br>-           |
| 1. 著者名<br>藤原 重雄・土山祐之   | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>史料紹介 『寛正五年中臣祐識記』（上）（再掲・改訂版）   | 5. 発行年<br>2023年     |
| 3. 雑誌名<br>「日本中近世寺社 記録 論の構築」グループ編『東京大学史料編纂所研究成果報告 2022-8日本中近世寺社 記録 論の構築 日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化』 | 6. 最初と最後の頁<br>51-71 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし  | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）  | 国際共著<br>-           |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>藤原 重雄・土山祐之  | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>史料紹介 『寛正五年中臣祐識記』（下）（再掲・改訂版）  | 5. 発行年<br>2023年     |
| 3. 雑誌名<br>「日本中近世寺社 記録 論の構築」グループ編 『東京大学史料編纂所研究成果報告 2022-8日本中近世寺社 記録 論の構築 日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化』 | 6. 最初と最後の頁<br>72-96 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし   | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）   | 国際共著<br>-           |

|   |                      |
|---|----------------------|
| 1. 著者名<br>藤原 重雄・土山祐之史料  | 4. 巻<br>-            |
| 2. 論文標題<br>紹介 春日大社所蔵『文正元年中臣延祐記』（再掲・改訂版）   | 5. 発行年<br>2023年      |
| 3. 雑誌名<br>「日本中近世寺社 記録 論の構築」グループ編 『東京大学史料編纂所研究成果報告 2022-8日本中近世寺社 記録 論の構築 日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化』 | 6. 最初と最後の頁<br>97-113 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし   | 査読の有無<br>無           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）   | 国際共著<br>-            |

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>土山祐之  | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>法隆寺による春日神木動座・帰座への供奉について 暦応年間を事例として   | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>「日本中近世寺社 記録 論の構築」グループ編 『東京大学史料編纂所研究成果報告 2022-8日本中近世寺社 記録 論の構築 日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化』 | 6. 最初と最後の頁<br>114-128 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし   | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）   | 国際共著<br>-             |

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>高橋 慎一郎  | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>醍醐寺史料にみる太元帥法の 記録   | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>「日本中近世寺社 記録 論の構築」グループ編 『東京大学史料編纂所研究成果報告 2022-8日本中近世寺社 記録 論の構築 日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化』 | 6. 最初と最後の頁<br>131-134 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし   | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）   | 国際共著<br>-             |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>関口 真規子   | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>史料紹介「太元帥法血脈」  | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>「日本中近世寺社 記録 論の構築」グループ編『東京大学史料編纂所研究成果報告 2022-8日本中近世寺社 記録 論の構築 日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化』 | 6. 最初と最後の頁<br>135~141 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし   | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)  | 国際共著<br>-             |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>西 弥生   | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>史料紹介「大元法理性院相承次第」  | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>「日本中近世寺社 記録 論の構築」グループ編『東京大学史料編纂所研究成果報告 2022-8日本中近世寺社 記録 論の構築 日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化』 | 6. 最初と最後の頁<br>142~143 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし   | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)  | 国際共著<br>-             |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>藤井 雅子  | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>史料紹介「太元御修法雑々記」  | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>「日本中近世寺社 記録 論の構築」グループ編『東京大学史料編纂所研究成果報告 2022-8日本中近世寺社 記録 論の構築 日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化』 | 6. 最初と最後の頁<br>144~150 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし   | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)  | 国際共著<br>-             |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>高橋 慎一郎   | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>史料紹介「太元護摩次第」  | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>「日本中近世寺社 記録 論の構築」グループ編『東京大学史料編纂所研究成果報告 2022-8日本中近世寺社 記録 論の構築 日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化』 | 6. 最初と最後の頁<br>151~156 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし   | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である)  | 国際共著<br>-             |



|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>貫井 裕恵  | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>東寺執行阿刀家とその伝来史料について  | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>「日本中近世寺社 記録 論の構築」グループ編『東京大学史料編纂所研究成果報告 2022-8日本中近世寺社 記録 論の構築 日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化』 | 6. 最初と最後の頁<br>159-167 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし   | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)   | 国際共著<br>-             |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>貫井 裕恵  | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>史料紹介 「宝泉院快玄日記」  | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>「日本中近世寺社 記録 論の構築」グループ編『東京大学史料編纂所研究成果報告 2022-8日本中近世寺社 記録 論の構築 日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化』 | 6. 最初と最後の頁<br>168-177 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし   | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)   | 国際共著<br>-             |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>高橋 敏子  | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>史料紹介 國學院大學図書館蔵「仁平三年御齋会記 (紙背康応二年 明徳元年 観智院賢宝日記)」                                      | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>「日本中近世寺社 記録 論の構築」グループ編『東京大学史料編纂所研究成果報告 2022-8日本中近世寺社 記録 論の構築 日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化』 | 6. 最初と最後の頁<br>178-193 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし   | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)   | 国際共著<br>-             |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>高橋 敏子  | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>史料紹介 「見聞雑記」 (欠落部断簡)   | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>「日本中近世寺社 記録 論の構築」グループ編『東京大学史料編纂所研究成果報告 2022-8日本中近世寺社 記録 論の構築 日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化』 | 6. 最初と最後の頁<br>194-202 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし   | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)   | 国際共著<br>-             |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>林 晃弘   | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>『一首坊頭證日次記』について  | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>「日本中近世寺社 記録 論の構築」グループ編『東京大学史料編纂所研究成果報告 2022-8日本中近世寺社 記録 論の構築 日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化』 | 6. 最初と最後の頁<br>205-220 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし   | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)   | 国際共著<br>-             |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>川本 慎自  | 4. 巻<br>-             |
| 2. 論文標題<br>史料紹介 仁和寺所蔵『聞書』  | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>「日本中近世寺社 記録 論の構築」グループ編『東京大学史料編纂所研究成果報告 2022-8日本中近世寺社 記録 論の構築 日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化』 | 6. 最初と最後の頁<br>221-235 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし   | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)   | 国際共著<br>-             |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>西弥生                          | 4. 巻<br>90-2・3        |
| 2. 論文標題<br>真言宗の文書・聖教－醍醐寺調査と目録作成をふまえて－  | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>史学                           | 6. 最初と最後の頁<br>110～114 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|  |                    |
|--|--------------------|
| 1. 著者名<br>西弥生                          | 4. 巻<br>58         |
| 2. 論文標題<br>鎮護国家と『性霊集』                  | 5. 発行年<br>2022年    |
| 3. 雑誌名<br>密教学                          | 6. 最初と最後の頁<br>1～21 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-          |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>西弥生                          | 4. 巻<br>725         |
| 2. 論文標題<br>真言密教聖教の史料的特質と活用             | 5. 発行年<br>2023年     |
| 3. 雑誌名<br>日本史研究                        | 6. 最初と最後の頁<br>20～35 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>三輪 眞嗣                        | 4. 巻<br>34          |
| 2. 論文標題<br>東大寺鎮守八幡宮と惣寺・大勧進・東南院 永仁の強訴前夜 | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>興風                           | 6. 最初と最後の頁<br>69-98 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-           |

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>藤原重雄                              | 4. 巻<br>33            |
| 2. 論文標題<br>天理大学附属天理図書館所蔵「春日社行幸記」(弘安九年中臣祐春記) | 5. 発行年<br>2023年       |
| 3. 雑誌名<br>東京大学史料編纂所研究紀要                     | 6. 最初と最後の頁<br>125-134 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし              | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)      | 国際共著<br>-             |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>畠山聡                                       | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>室町時代後期の太夫殿燈油方の活動と燈油田                     | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>論集室町時代の東大寺(ザ・グレイトブッダ・シンポジウム論集, 第19号) 東大寺刊 | 6. 最初と最後の頁<br>59-79 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                      | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難              | 国際共著<br>-           |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>三輪 真嗣   | 4. 巻<br>0           |
| 2. 論文標題<br>一二世紀前半の東大寺別当と観世音寺・鎮西米 特に寛助に注目して                        | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>観世音寺公験案の集成と研究：東京大学史料編纂所2019・2020年度一般共同研究研究成果報告書（代表：森哲也） | 6. 最初と最後の頁<br>26-40 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                                     | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）                             | 国際共著<br>-           |

|                                       |                       |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>藤原重雄、土山祐之                   | 4. 巻<br>32            |
| 2. 論文標題<br>『寛正五年中臣祐識記』（下）             | 5. 発行年<br>2022年       |
| 3. 雑誌名<br>東京大学史料編纂所研究紀要               | 6. 最初と最後の頁<br>153-177 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著<br>-             |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>藤原重雄、高島晶彦                           | 4. 巻<br>92          |
| 2. 論文標題<br>建暦元年「蔵人所孔雀経御修法用途奉送状」 醍醐寺地蔵院旧蔵の宿紙文書 | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信             | 6. 最初と最後の頁<br>14-22 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                 | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている（また、その予定である）         | 国際共著<br>-           |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>藤井雅子 佐藤亜莉華                   | 4. 巻<br>62            |
| 2. 論文標題<br>史料紹介 醍醐寺所蔵「理性院代々付法状案」       | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>『史艸』                         | 6. 最初と最後の頁<br>112～147 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし          | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>石塚菜々美                         | 4. 巻<br>28          |
| 2. 論文標題<br>太元帥法の歴史的変遷 毛利氏・島津氏による事例に注目して | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>『日本女子大学大学院文学部研究科紀要』           | 6. 最初と最後の頁<br>53～70 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし          | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)  | 国際共著<br>-           |

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>畠山聡                                     | 4. 巻<br>122-11        |
| 2. 論文標題<br>室町時代における東大寺領清澄荘の経営について : 「清澄荘近年日記」を中心に | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>國學院雑誌                                   | 6. 最初と最後の頁<br>145-166 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>10.57529/00000685     | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)            | 国際共著<br>-             |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>西尾知己   | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>出世後見からみる中世後期東大寺の別当と惣寺                                 | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>遠藤基郎他編『東京大学史料編纂所研究成果報告2021-16 : 中世東大寺記録出世後見・俱舎三十講関係史料』 | 6. 最初と最後の頁<br>15-37 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                   | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                           | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>遠藤基郎   | 4. 巻<br>-           |
| 2. 論文標題<br>俱舎三十講の変遷とその指図   | 5. 発行年<br>2022年     |
| 3. 雑誌名<br>遠藤基郎他編『東京大学史料編纂所研究成果報告2021-16 : 中世東大寺記録出世後見・俱舎三十講関係史料』 | 6. 最初と最後の頁<br>38-43 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                                   | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)                           | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>高橋慎一郎                        | 4. 巻<br>55          |
| 2. 論文標題<br>賢西と上醍醐丈六堂                   | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>説話文学研究                       | 6. 最初と最後の頁<br>15-21 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-           |

|   |                       |
|---|-----------------------|
| 1. 著者名<br>横内裕人  | 4. 巻<br>0             |
| 2. 論文標題<br>元興寺の中世化ー古代官寺から中世的都市寺院へ                         | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>元興寺・元興寺文化財研究所編『日本仏教はじまりの寺 元興寺 ー三〇〇年の歴史を語る』吉川弘文館 | 6. 最初と最後の頁<br>182-199 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                            | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                    | 国際共著<br>-             |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>横内裕人                         | 4. 巻<br>0           |
| 2. 論文標題<br>東大寺大勧進重源自筆書状                | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>日本古文書学会編『古文書への招待』勉誠出版        | 6. 最初と最後の頁<br>66-69 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>横内裕人                         | 4. 巻<br>0             |
| 2. 論文標題<br>中世東大寺律儀復興史小考ー戒壇院と別所系律院ー     | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>律宗戒学院編『凝然教学の形成と展開』法蔵館        | 6. 最初と最後の頁<br>237-256 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>西尾知己                         | 4. 巻<br>142           |
| 2. 論文標題<br>南北朝から室町期の矢野荘における東寺衆中と給主     | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>関東学院大学人文学会紀要                 | 6. 最初と最後の頁<br>236-208 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-             |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>西尾知己                         | 4. 巻<br>44          |
| 2. 論文標題<br>中世後期強訴論の整理と課題               | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>関東学院大学人文科学研究所報               | 6. 最初と最後の頁<br>21-42 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>三輪 眞嗣                        | 4. 巻<br>22          |
| 2. 論文標題<br>中世前期東大寺の修学振興と学侶             | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>洛北史学                         | 6. 最初と最後の頁<br>22-46 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>三輪 眞嗣                        | 4. 巻<br>345・346     |
| 2. 論文標題<br>資料紹介 御灌頂次第 仁治禅定殿下           | 5. 発行年<br>2021年     |
| 3. 雑誌名<br>金澤文庫研究                       | 6. 最初と最後の頁<br>48-68 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>西 弥生                             | 4. 巻<br>11            |
| 2. 論文標題<br>「法流預かり」にみる真言宗寺院の関係性－勸修寺と東寺を中心に－ | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>平安仏教学会年報                         | 6. 最初と最後の頁<br>41 - 71 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし             | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難     | 国際共著<br>-             |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>土山祐之・藤原重雄                      | 4. 巻<br>45            |
| 2. 論文標題<br>国文学研究資料館所蔵『春日御遷坐御帰坐日記』(法隆寺記録) | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>『年報中世史研究』                      | 6. 最初と最後の頁<br>179-208 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし           | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難   | 国際共著<br>-             |

|                                       |                       |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>藤原重雄・土山祐之                   | 4. 巻<br>31            |
| 2. 論文標題<br>『寛正五年中臣祐識記』(上)             | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>『東京大学史料編纂所研究紀要』             | 6. 最初と最後の頁<br>112-132 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし        | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著<br>-             |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>藤原重雄                         | 4. 巻<br>0             |
| 2. 論文標題<br>東寺本『弘法大師行状絵巻』の披覧記事          | 5. 発行年<br>2021年       |
| 3. 雑誌名<br>佐野みどり先生古稀記念論集編『造形のポエティカ』青簡舎  | 6. 最初と最後の頁<br>481-506 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |



|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>藤原重雄                         | 4. 巻<br>104         |
| 2. 論文標題<br>新指定重要文化財「春日大社神事日記」について      | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>『春日』                         | 6. 最初と最後の頁<br>10 11 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>遠藤基郎・佐藤健治                    | 4. 巻<br>689         |
| 2. 論文標題<br>『古文書手鑑(櫛のくち葉)』(史料紹介)        | 5. 発行年<br>2020年     |
| 3. 雑誌名<br>『MUSEUM』                     | 6. 最初と最後の頁<br>47 68 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

|                                       |                    |
|---------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>遠藤 基郎                       | 4. 巻<br>66         |
| 2. 論文標題<br>室町期東大寺執行の日記から              | 5. 発行年<br>2020年    |
| 3. 雑誌名<br>秋大史学                        | 6. 最初と最後の頁<br>1-23 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし        | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著<br>-          |

|                                       |                       |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1. 著者名<br>藤原重雄・土山祐之                   | 4. 巻<br>30            |
| 2. 論文標題<br>春日大社所蔵『文正元年中臣延祐記』          | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>東京大学史料編纂所研究紀要               | 6. 最初と最後の頁<br>179-195 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし        | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著<br>-             |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>西 弥生                         | 4. 巻<br>84            |
| 2. 論文標題<br>中世真言宗教団の構造と秩序―天竺・唐と日本―      | 5. 発行年<br>2019年       |
| 3. 雑誌名<br>日本佛教学會年報                     | 6. 最初と最後の頁<br>267-288 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-             |

|  |                      |
|--|----------------------|
| 1. 著者名<br>林晃弘                          | 4. 巻<br>690          |
| 2. 論文標題<br>幕府寺社奉行の成立と寺院政策の展開           | 5. 発行年<br>2020年      |
| 3. 雑誌名<br>『日本史研究』                      | 6. 最初と最後の頁<br>73-100 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-            |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>東大寺中性院襖下張文書研究会 (岩永紘和・宇佐美倫太郎・納田敬悟・坂東俊彦・三輪眞嗣・横内裕人) | 4. 巻<br>101           |
| 2. 論文標題<br>史料紹介 東大寺中性院襖下張文書                                | 5. 発行年<br>2020年       |
| 3. 雑誌名<br>南都仏教   | 6. 最初と最後の頁<br>150-168 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                             | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                     | 国際共著<br>-             |

|  |                        |
|--|------------------------|
| 1. 著者名<br>遠藤基郎                                   | 4. 巻<br>-              |
| 2. 論文標題<br>美濃国大井莊を史料論から考える                       | 5. 発行年<br>2018年        |
| 3. 雑誌名<br>海老澤衷編『中世莊園村落の環境歴史学 東大寺領美濃国大井莊の研究』吉川弘文館 | 6. 最初と最後の頁<br>196-213p |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                   | 査読の有無<br>有             |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難           | 国際共著<br>該当する           |

|   |                      |
|---|----------------------|
| 1. 著者名<br>遠藤基郎  | 4. 巻<br>-            |
| 2. 論文標題<br>Todaiji's Estate in Its Documentary Record: Perspectives on Obe Estate. (translated by Janet R. Goodwin)     | 5. 発行年<br>2018年      |
| 3. 雑誌名<br>Land, Power, and the Sacred. Janet R. Goodwin and Joan R. Piggott (ed.) Honolulu: University of Hawai'i Press | 6. 最初と最後の頁<br>81-106 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし  | 査読の有無<br>有           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難  | 国際共著<br>該当する         |

|  |                        |
|--|------------------------|
| 1. 著者名<br>横内裕人                         | 4. 巻<br>第62号           |
| 2. 論文標題<br>東大寺印蔵の文書管理構造—所司と大衆の関わりを中心に— | 5. 発行年<br>2018年        |
| 3. 雑誌名<br>南都仏教                         | 6. 最初と最後の頁<br>p116-139 |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有             |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-              |

|                                       |                    |
|---------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名<br>高橋慎一朗                       | 4. 巻<br>29         |
| 2. 論文標題<br>証円上人秀源の活動にみる醍醐寺と泉涌寺の交流     | 5. 発行年<br>2019年    |
| 3. 雑誌名<br>東京大学史料編纂所研究紀要               | 6. 最初と最後の頁<br>1-9p |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし        | 査読の有無<br>有         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている(また、その予定である) | 国際共著<br>-          |

|   |                    |
|---|--------------------|
| 1. 著者名<br>藤原重雄                              | 4. 巻<br>81         |
| 2. 論文標題<br>広橋家旧蔵・東洋文庫所蔵「擬似曼荼羅」(北野種子曼荼羅)について | 5. 発行年<br>2018年    |
| 3. 雑誌名<br>画像史料解析センター通信                      | 6. 最初と最後の頁<br>5-9p |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし              | 査読の有無<br>無         |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難      | 国際共著<br>-          |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>大数海                          | 4. 巻<br>第62号        |
| 2. 論文標題<br>康暦の強訴終結後の混乱と南都伝奏の成立         | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>お茶の水史学                       | 6. 最初と最後の頁<br>1-15p |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-           |

|  |                        |
|--|------------------------|
| 1. 著者名<br>西尾知己                         | 4. 巻<br>-              |
| 2. 論文標題<br>地名からみる東大寺領大和国河上荘            | 5. 発行年<br>2019年        |
| 3. 雑誌名<br>『よみがえる荘園 景観に刻まれた中世の記憶』       | 6. 最初と最後の頁<br>141-164p |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有             |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-              |

|  |                      |
|--|----------------------|
| 1. 著者名<br>巽 昌子                         | 4. 巻<br>671号         |
| 2. 論文標題<br>付法状の役割と作成意義 醍醐寺僧憲深の処分を中心に   | 5. 発行年<br>2018年      |
| 3. 雑誌名<br>日本史研究                        | 6. 最初と最後の頁<br>30-56p |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>有           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である) | 国際共著<br>-            |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>巽 昌子                                  | 4. 巻<br>第15巻        |
| 2. 論文標題<br>醍醐寺報恩院における法流と院家の相承 鎌倉時代後期から南北朝時代を中心に | 5. 発行年<br>2019年     |
| 3. 雑誌名<br>お茶の水女子大学 人文科学研究                       | 6. 最初と最後の頁<br>1-14p |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし                  | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)          | 国際共著<br>-           |

|  |                      |
|--|----------------------|
| 1. 著者名<br>三輪 真嗣                            | 4. 巻<br>127編4号       |
| 2. 論文標題<br>中世前期東大寺の財政構造と鎮西米 「東大寺中行事」を素材として | 5. 発行年<br>2018年      |
| 3. 雑誌名<br>史学雑誌                             | 6. 最初と最後の頁<br>41-66p |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし             | 査読の有無<br>有           |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスとしている (また、その予定である)     | 国際共著<br>-            |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>三輪 真嗣                           | 4. 巻<br>43号         |
| 2. 論文標題<br>鎌倉中期東大寺の学侶集団と「惣寺」 別当定親・定済期を中心に | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>年報中世史研究                         | 6. 最初と最後の頁<br>1 29p |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし            | 査読の有無<br>有          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難    | 国際共著<br>-           |

|  |                     |
|--|---------------------|
| 1. 著者名<br>三輪 真嗣                        | 4. 巻<br>342号        |
| 2. 論文標題<br>湛睿と覚聖 『湛稿冊子』三四紙背文書中の東大寺関係史料 | 5. 発行年<br>2018年     |
| 3. 雑誌名<br>金沢文庫研究                       | 6. 最初と最後の頁<br>5 22p |
| 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)<br>なし         | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 | 国際共著<br>-           |

〔学会発表〕 計27件 (うち招待講演 12件 / うち国際学会 2件)

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>三輪 真嗣                        |
| 2. 発表標題<br>鎌倉中後期における律院の展開 久米田寺と東大寺に注目して |
| 3. 学会等名<br>佛教史学会                        |
| 4. 発表年<br>2022年                         |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>西弥生                                |
| 2. 発表標題<br>江戸時代における三宝院流憲深方の広まりー金剛福寺旧蔵聖教に注目してー |
| 3. 学会等名<br>平安仏教学会                             |
| 4. 発表年<br>2022年                               |

|                       |
|-----------------------|
| 1. 発表者名<br>西弥生        |
| 2. 発表標題<br>真言密教の修法と聖教 |
| 3. 学会等名<br>日本仏教綜合研究学会 |
| 4. 発表年<br>2022年       |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>大田壮一郎                         |
| 2. 発表標題<br>初期室町幕府の宗教政策を支えた人々 奉行人・三条殿・石清水 |
| 3. 学会等名<br>歴史学研究会中世史部会（招待講演）             |
| 4. 発表年<br>2021年                          |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>貫井 裕恵                                   |
| 2. 発表標題<br>書札からみた中世寺院の意思伝達と組織 東寺を中心に               |
| 3. 学会等名<br>国際シンポジウム「中世社会と書状 文書実践の日欧比較」（招待講演）（国際学会） |
| 4. 発表年<br>2022年                                    |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>横内裕人                               |
| 2. 発表標題<br>寺院史料の可能性 史料の分類と課題の共有               |
| 3. 学会等名<br>全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会第158回例会（招待講演） |
| 4. 発表年<br>2021年                               |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>高橋慎一朗                         |
| 2. 発表標題<br>醍醐寺史料にみる太元帥法の 記録              |
| 3. 学会等名<br>オンライン公開研究会「中世寺社記録からの探究」（招待講演） |
| 4. 発表年<br>2021年                          |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>川本 慎自                         |
| 2. 発表標題<br>仁和寺史料調査と史料編纂所                 |
| 3. 学会等名<br>オンライン公開研究会「中世寺社記録からの探究」（招待講演） |
| 4. 発表年<br>2021年                          |

|                                |
|--------------------------------|
| 1. 発表者名<br>林晃弘                 |
| 2. 発表標題<br>「仁和寺一音坊顕證と『顕證日記』」   |
| 3. 学会等名<br>寺社記録科研研究会 第2回（招待講演） |
| 4. 発表年<br>2020年                |

|                                |
|--------------------------------|
| 1. 発表者名<br>三輪 真嗣               |
| 2. 発表標題<br>応永・永享期における東大寺の惣寺と院家 |
| 3. 学会等名<br>応永・永享期文化論研究会（招待講演）  |
| 4. 発表年<br>2020年                |

|                       |
|-----------------------|
| 1. 発表者名<br>西 弥生       |
| 2. 発表標題<br>近世以降の東寺諸院家 |
| 3. 学会等名<br>日本密教学会     |
| 4. 発表年<br>2020年       |

|                                |
|--------------------------------|
| 1. 発表者名<br>貫井 裕恵               |
| 2. 発表標題<br>室町期における東寺と東寺執行家について |
| 3. 学会等名<br>国際日本文化研究センター共同研究    |
| 4. 発表年<br>2020年                |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>貫井 裕恵  |
| 2. 発表標題<br>阿刀家伝世資料からみた中世東寺の執行職  |
| 3. 学会等名<br>オンライン公開研究会「中世寺社記録からの探究」（基盤研究A「日本中近世寺社 記録 論の構築 日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化」研究代表者：遠藤基郎） |
| 4. 発表年<br>2021年   |



|                                |
|--------------------------------|
| 1. 発表者名<br>遠藤 基郎               |
| 2. 発表標題<br>中世東大寺の 記録 の世界から     |
| 3. 学会等名<br>秋大史学会2019年度大会（招待講演） |
| 4. 発表年<br>2019年                |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>西尾 知巳                         |
| 2. 発表標題<br>東大寺の出世後見について                  |
| 3. 学会等名<br>2019年度(第4期第5回)日本宗教史懇話会サマーセミナー |
| 4. 発表年<br>2019年                          |

|   |
|---|
| 1. 発表者名<br>大数 海                         |
| 2. 発表標題<br>応永期興福寺諸職補任事例にみる室町幕府 興福寺関係の変化 |
| 3. 学会等名<br>第117回史学会大会日本史部会              |
| 4. 発表年<br>2019年                         |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>西弥生                             |
| 2. 発表標題<br>「法流預かり」にみる真言宗寺院の関係性ー勤修寺と東寺を中心にー |
| 3. 学会等名<br>平安仏教学会（招待講演）                    |
| 4. 発表年<br>2019年                            |

|                                 |
|---------------------------------|
| 1. 発表者名<br>西 弥生                 |
| 2. 発表標題<br>公家と仁王経法              |
| 3. 学会等名<br>第21回智山総合研修会 智山勸学会分科会 |
| 4. 発表年<br>2019年                 |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>Hiroe Nukui/Naoyoshi Ohashi   |
| 2. 発表標題<br>Progress of Archival Technology and Historical Materials during the Medieval and Early Modern Period in Japan |
| 3. 学会等名<br>International Conference: Technological Changes and Society (招待講演) (国際学会)                                     |
| 4. 発表年<br>2019年  |

|                               |
|-------------------------------|
| 1. 発表者名<br>貫井 裕恵              |
| 2. 発表標題<br>中世東寺における執行家の職務について |
| 3. 学会等名<br>第4期第3回東寺文書研究会      |
| 4. 発表年<br>2020年               |

|                            |
|----------------------------|
| 1. 発表者名<br>林晃弘             |
| 2. 発表標題<br>家光政権期の寺社奉行と寺院行政 |
| 3. 学会等名<br>第7回中近世宗教史研究会    |
| 4. 発表年<br>2019年            |

|                              |
|------------------------------|
| 1. 発表者名<br>林晃弘               |
| 2. 発表標題<br>幕府寺社奉行の成立と寺院政策の展開 |
| 3. 学会等名<br>日本史研究会2019年大会     |
| 4. 発表年<br>2019年              |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>横内裕人                                      |
| 2. 発表標題<br>元興寺の中世化                                   |
| 3. 学会等名<br>記念シンポジウム『平城京と元興寺 その創建とうつり変わり』（招待講演）（招待講演） |
| 4. 発表年<br>2018年                                      |

|                                 |
|---------------------------------|
| 1. 発表者名<br>横内裕人                 |
| 2. 発表標題<br>東大寺と鎮守八幡宮 神仏習合と大衆の成長 |
| 3. 学会等名<br>東大寺学講座（招待講演）（招待講演）   |
| 4. 発表年<br>2019年                 |

|                          |
|--------------------------|
| 1. 発表者名<br>西弥生           |
| 2. 発表標題<br>中世真言宗教団の構造と秩序 |
| 3. 学会等名<br>日本仏教学会        |
| 4. 発表年<br>2018年          |

|                               |
|-------------------------------|
| 1. 発表者名<br>西弥生                |
| 2. 発表標題<br>中近世における東寺觀智院の存続と発展 |
| 3. 学会等名<br>日本密教学会             |
| 4. 発表年<br>2018年               |

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>三輪 眞嗣                             |
| 2. 発表標題<br>鎌倉末～南北朝期における東大寺の財務集団 「惣寺」の再考をめざして |
| 3. 学会等名<br>歴史学研究会中世史部会 10月例会                 |
| 4. 発表年<br>2018年                              |

〔図書〕 計12件

|   |                 |
|---|-----------------|
| 1. 著者名<br>「日本中近世寺社 記録 論の構築」グループ編                                      | 4. 発行年<br>2023年 |
| 2. 出版社<br>(私家版)   | 5. 総ページ数<br>245 |
| 3. 書名<br>東京大学史料編纂所研究成果報告 2022-8日本中近世寺社 記録 論の構築 日本の日記文化の多様性の探究とその研究資源化 |                 |

|                                |                 |
|--------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>大田壮一郎・早島大祐・松永和浩・吉田賢司 | 4. 発行年<br>2022年 |
| 2. 出版社<br>吉川弘文館                | 5. 総ページ数<br>296 |
| 3. 書名<br>『首都京都と室町幕府』           |                 |

|                            |                 |
|----------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>東寺文書研究会（分担翻刻・校訂） | 4. 発行年<br>2022年 |
| 2. 出版社<br>思文閣出版            | 5. 総ページ数<br>300 |
| 3. 書名<br>東寺執行日記 第一巻        |                 |

|                                     |                 |
|-------------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>永村眞・藤井雅子・関口真規子・西弥生・佐藤亜莉華他 | 4. 発行年<br>2021年 |
| 2. 出版社<br>勉誠出版                      | 5. 総ページ数<br>617 |
| 3. 書名<br>中世寺院の仏法と社会                 |                 |

|  |                 |
|--|-----------------|
| 1. 著者名<br>遠藤基郎・西尾知己・畠山聡・三輪眞嗣編  | 4. 発行年<br>2021年 |
| 2. 出版社<br>（私家版）  | 5. 総ページ数<br>158 |
| 3. 書名<br>『中世東大寺記録出世後見・倶舎三十講関係史料』東京大学史料編纂所研究成果報告2021-?<br>（JSPS18H0358318H03583報告書） |                 |

|                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>日本佛教学会 | 4. 発行年<br>2020年 |
| 2. 出版社<br>法蔵館    | 5. 総ページ数<br>472 |
| 3. 書名<br>仏教と日本   |                 |

|                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>京都学研究会    | 4. 発行年<br>2021年 |
| 2. 出版社<br>ナカニシヤ出版   | 5. 総ページ数<br>238 |
| 3. 書名<br>京都を学ぶ【洛東編】 |                 |

|                          |                 |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>大藪海            | 4. 発行年<br>2021年 |
| 2. 出版社<br>吉川弘文館          | 5. 総ページ数<br>286 |
| 3. 書名<br>『応仁・文明の乱と明応の政変』 |                 |

|   |                 |
|---|-----------------|
| 1. 著者名<br>遠藤基郎・西尾知己・畠山聡・三輪眞嗣編   | 4. 発行年<br>2021年 |
| 2. 出版社<br>(出版社なし)   | 5. 総ページ数<br>150 |
| 3. 書名<br>『中世東大寺記録執行関係史料』東京大学史料編纂所研究成果報告2020-1 (JSPS18H0358318H03583報告書) |                 |

|                                  |                 |
|----------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>東京大学史料編纂所 (遠藤基郎担当)     | 4. 発行年<br>2020年 |
| 2. 出版社<br>東京大学出版会                | 5. 総ページ数<br>396 |
| 3. 書名<br>大日本古文書 家わけ第十八 東大寺文書之二十四 |                 |

|                                  |                 |
|----------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>早島大祐(編)大田 壮一郎、林 晃弘(共著) | 4. 発行年<br>2019年 |
| 2. 出版社<br>小さ子社                   | 5. 総ページ数<br>616 |
| 3. 書名<br>中近世武家菩提寺の研究             |                 |

|                                    |                 |
|------------------------------------|-----------------|
| 1. 著者名<br>西 弥生編、藤井雅子、高橋慎一郎、関口真規子共著 | 4. 発行年<br>2018年 |
| 2. 出版社<br>戎光祥出版                    | 5. 総ページ数<br>386 |
| 3. 書名<br>醍醐寺                       |                 |

〔産業財産権〕

〔その他〕

|   |
|---|
| <p>東大寺文書編纂と中世史研究<br/> <a href="https://www.hi.u-tokyo.ac.jp/personal/endo/index.html">https://www.hi.u-tokyo.ac.jp/personal/endo/index.html</a><br/> 「中近世寺社&lt;記録&gt;」科研site<br/> <a href="https://www.hi.u-tokyo.ac.jp/personal/endo/2012-15kaken/kodoka_index.html">https://www.hi.u-tokyo.ac.jp/personal/endo/2012-15kaken/kodoka_index.html</a></p> |
|---|

| 6. 研究組織 |  |                                      |    |
|---------|--|--------------------------------------|----|
|         | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)                              | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)                | 備考 |
| 研究分担者   | 高橋 慎一郎<br><br>(Takahashi Shinichiro)<br><br>(10242158) | 東京大学・史料編纂所・教授<br><br><br><br>(12601) |    |

## 6. 研究組織（つづき）

|       | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)                          | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)                 | 備考 |
|-------|--|---------------------------------------|----|
| 研究分担者 | 藤原 重雄<br><br>(Ffujiaara Shigeo)<br><br>(40313192)  | 東京大学・史料編纂所・准教授<br><br><br><br>(12601) |    |
| 研究分担者 | 川本 慎自<br><br>(Kawamoto Shinji)<br><br>(30323661)   | 東京大学・史料編纂所・准教授<br><br><br><br>(12601) |    |
| 研究分担者 | 菊地 大樹<br><br>(Kikuchi Hiroki)<br><br>(80272508)    | 東京大学・史料編纂所・教授<br><br><br><br>(12601)  |    |
| 研究分担者 | 横内 裕人<br><br>(Yokouchi Hiroto)<br><br>(50706520)   | 京都府立大学・文学部・教授<br><br><br><br>(24302)  |    |
| 研究分担者 | 藤井 雅子<br><br>(Fujii Masako)<br><br>(20440084)      | 日本女子大学・文学部・教授<br><br><br><br>(32670)  |    |
| 研究分担者 | 大田 壮一郎<br><br>(Oota Soichiro)<br><br>(00613978)    | 立命館大学・文学部・教授<br><br><br><br>(34315)   |    |
| 研究分担者 | 高橋 敏子<br><br>(Takahashi Toshiko)<br><br>(80151520) | 東京大学・史料編纂所・教授<br><br><br><br>(12601)  |    |



## 6. 研究組織（つづき）

|       | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)        | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)                   | 備考 |
|-------|----------------------------------|---|----|
| 研究協力者 | 比企 貴之<br><br>(Hiki Takayuki)     | 國學院大學・研究開発推進機構・特任助教<br><br>(32614)      |    |
| 研究協力者 | 馬田 綾子<br><br>(Umata Ayako)       | 梅花女子大学・公私立大学の部局等・名誉教授<br><br>(10131484) |    |
| 研究協力者 | 畠山 聡<br><br>(Hatakeyama Satoshi) | 東京大学・史料編纂所・元特任研究者<br><br>(12601)        |    |
| 研究協力者 | 佐藤 亜莉華<br><br>(Satou Arika)      | 東京大学・史料編纂所・元研究支援職員<br><br>(12601)       |    |
| 研究協力者 | 石塚 菜々美<br><br>(Ishizuka Nanami)  | 日本女子大学・文学部・元大学院生（修士）<br><br>(12601)     |    |
| 研究協力者 | 巽 昌子<br><br>(Tatsumi Masako)     | 東京都立大学・人文科学研究科・助教<br><br>(90829326)     |    |
| 連携研究者 | 貫井 裕恵<br><br>(Nukui Hiroe)       | 神奈川県立金沢文庫・学芸課・学芸員<br><br>(40782868)     |    |
| 連携研究者 | 西 弥生<br><br>(Nishi Yayoi)        | 種智院大学・人文学部・准教授(移行)<br><br>(50459939)    |    |

6. 研究組織（つづき）

|       | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号)                         | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号)                             | 備考 |
|-------|---|---|----|
| 連携研究者 | 西尾 知己<br><br>(Nishio Tomomi)<br><br>(20453996)    | 関東学院大学・国際文化学部・准教授<br><br><br><br>(32704)          |    |
| 連携研究者 | 三輪 眞嗣<br><br>(Miwa Shinji)<br><br>(30829297)      | 神奈川県立金沢文庫・学芸課・学芸員<br><br><br><br>(82720)          |    |
| 連携研究者 | 林 晃弘<br><br>(Hayashi Akihiro)<br><br>(10719272)   | 東京大学・史料編纂所・准教授<br><br><br><br>(12601)             |    |
| 連携研究者 | 土山 祐之<br><br>(Tsuchiyama Yushi)<br><br>(00963216) | 国立歴史民俗博物館・大学共同利用機関等の部局等・助教<br><br><br><br>(62501) |    |
| 連携研究者 | 大藪 海<br><br>(Ooyabu Umi)<br><br>(80748054)        | お茶の水女子大学・基幹研究院・准教授<br><br><br><br>(12611)         |    |

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

| 共同研究相手国 | 相手方研究機関 |
|---------|---------|
|         |         |